



メルマガジン

全部協プライムニュース

<https://www.zenbukyo.or.jp/>

全日本自動車部品卸商協同組合

2026年7月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 全部協活動報告

- 1) 「第30回正副理事長会議」を開催
- 2) 「第61回事業運営委員会」、「第21回情報専門部会」を合同開催
- 3) 「第50回経営組織委員会」を開催
- 4) オンラインセミナー第10弾を実施

2. 自動車業界のニュース

- 1) 上半期の国内新車販売台数は238万7千台
- 2) 日整連・整商連が総会開催
- 3) 国土交通省が事故車修理の標準作業時間調査の結果を発表
- 4) 上半期の自動車整備事業者の廃業が過去最多

3. 統計情報

自動車販売統計

整備工場統計

4. 事務局からのお知らせ

- 1) 事務局夏季休業について
- 2) 富士通PCあっせん販売終了について
- 3) 「WEB共通互換品番検索システム（ZEBGO）」ご相談窓口をご利用ください
- 4) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを行っています
- 5) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください
- 6) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

5. 全部協会議・活動日程

6. メルマガ配信アドレス登録のお願い

7. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Toolモール」利用のQ&A
- 2) メルマガ添付版：デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) リパーツダイレクトの広告
- 4) その他の広告リンク
 - ・株式会社AAC

1. 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1) 「第30回正副理事長会議」を開催

全部協は7月3日に「第30回正副理事長会議」を開催し、令和8年度の重点取り組み課題について協議しました。

2) 「第61回事業運営委員会」および「第21回情報専門部会」を合同開催

全部協は7月10日、「第61回事業運営委員会」と「第21回情報専門部会」を合同で開催しました。「WEB共通互換品番検索システム（ZEBGO）」の現状の課題と新機能開発内容について検討したほか、オンラインセミナーおよびオンラインプロモーションのテーマをはじめ、今年度の活動方針についても協議しました。

3) 「第50回経営組織委員会」を開催

全部協は7月22日に「第50回経営組織委員会」を開催しました。委員会では組合員・賛助会員の新規加入促進や組合員の満足度向上のための方策について協議したほか、取引推進専門部会および大型・商用車部品部会の活動方針等を確認しました。

4) オンラインセミナー第10弾を実施

全部協は7月27日、第10弾となる「全部協オンラインセミナー」を実施しました。テーマはNTTスマートコネクスト(株)による「生成AIの業務活用入門 生成AIの基本と、業務で役立つ使い方をやさしく解説」で、生成AIの基本的な仕組みから日常業務での活用法等についてわかりやすく解説しました。

3. 自動車業界のニュース

1) 上半期の国内新車販売台数は238万7千台

（一社）日本自動車販売協会連合会（自販連）および（一社）全国軽自動車協会連合会（全軽自協）が発表した2026年上半期（2026年1月～6月）の新車販売台数（登録車、軽自動車合計）は、前年同期比1.8%増の238万7,190台となりました。このうち登録車は153万

413台（前年同期比2.0%増）、軽自動車は85万6777台（同1.3%増）です。

自動車取得時に燃費性能や排出ガス基準の達成度に応じて課せられていた環境性能割が今年3月末で廃止されました。このため新車登録を4月以降に先延ばしするケースが増え4月～6月の新車登録台数が増加したこと等が上半期の販売台数を押し上げたとみられます。

2) 日整連・整商連が総会開催

（一社）日本自動車整備振興会連合会（日整連）および日本自動車整備商工組合連合会（整商連）は6月26日に東京都港区の第一ホテル東京で「第118回定時総会」、「第101回通常総会」をそれぞれ開催しました。日整連の「第118回定時総会」では令和7年度事業報告案および決算報告案等を承認しました。また整商連の「第101回通常総会」では令和7年度事業報告案および収支決算報告案等、令和8年度事業計画案および収支予算案等を承認しました。

総会後の懇親会では、金子恭之国土交通大臣、佐々木紀国土交通副大臣、酒井庸行同副大臣の3名が出席しました。来賓として挨拶した金子国土交通大臣は、中東情勢の影響によりエンジンオイルやシンナーが入手困難になっていることについて「経済産業省とも協力し対応策を進めている。供給の偏り・目詰まり解消に向け、現場の声にしっかり耳を傾けて取り組んでいく」と強調しました。

また懇親会には（一社）日本自動車工業会（自工会）の佐藤恒治会長が初めて出席しました。

3) 国土交通省が事故車修理の標準作業時間調査の結果を公表

国土交通省は、事故車修理の標準作業時間に関する調査結果を公表しました。事故車の修理工賃の決定に用いられる標準作業時間については(株)自研センターが策定する「自研指数」が広く使用されています。しかし車体整備事業者からこの指数の時間内で終わられない作業があるとの声が挙がっており、国土交通省が第三者的立場から調査を行ったものです。

世界各国の自動車メーカーから標準作業時間の策定業務を請け負う独企業CABに標準作業時間の策定を依頼し自研指数と比較しました。3車種・特定の作業を検証した結果、板金作業においてはCAB工数が自研指数より長くなる傾向となりました。一方、塗装作業については大きな差異は見られませんでした。

調査結果を踏まえ、国土交通省では自研センター、損害保険会社、車体整備事業者らとより実態に即した標準作業時間策定のための建設的な議論を行うとしています。また車体整備事業者に対しては自研指数の時間内に作業が終了しない場合は損害保険会社と個別交渉すること、また交渉が進まない場合には国土交通省の相談窓口へ情報を入れること等を周知しています。

4) 上半期の自動車整備事業者の廃業が過去最多

(株)帝国データバンクの調査によると、2026年上半年期（2026年1月～6月）の自動車整備事業者の廃業が過去最多となりました。

上半期における自動車整備事業者の休廃業・解散（廃業）は259件で、前年同期の186件か

ら約4割増加し過去最多を更新しました。倒産に至った36件を含めると半期で過去最多の295件が自動車整備市場から撤退したことになります。

廃業した自動車整備事業者のうち資本金100万円以上1千万円未満の事業者が115件で全体の約4割と最も多く、個人事業主を含めた資本金100万円未満の事業者を合わせると小規模事業者が約8割を占めています。

自動車整備業界はパーツ類やオイル・油脂類、塗料等の価格上昇、ディーラーやカー用品店等との価格競争等により厳しい経営環境が続いています。さらに車の電子化・高度化に伴い整備作業の難易度が上がっており、設備投資や人材確保が困難な小規模整備工場の自動車整備からの撤退は今後も続くものとみられます。

4. 統計情報

国土交通省

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

優良認定工場数（速報）

（一社）日本自動車販売協会連合会

ブランド別新車販売台数確報 2026年6月

（一社）全国軽自動車協会連合会

2026年7月軽四輪車新車販売台数確報

5. 事務局からのお知らせ

1) 事務局夏季休業について

全部協事務局は8月10日（月）から14日（金）まで夏季休業とさせていただきます。

2) 富士通パソコンあっせん販売キャンペーン終了について

全部協は組合員向けに実施してきた富士通パソコンのあっせん販売キャンペーンを終了いたしました。半導体等の部材高騰や供給ひっ迫によりパソコン本体価格の大幅な上昇、供給の不安定化が続いていることから継続が困難となりました。詳細は下記PDFをご確認ください。

◎全日本自動車部品卸商協同組合会員様向けキャンペーン終了のご案内

3) 「WEB共通互換品番検索システム（ZEBGO）」ご相談窓口をご利用ください

全部協は「WEB共通互換品番検索システム（ZEBGO）」専用のご相談窓口を開設しております。互換品番検索システムをご利用中に不具合等のあった場合は下記までご連絡ください。

株式会社クレイドルボックス

電話：0277-46-9876

メールアドレス：support@cradlebox.co.jp

お問い合わせ対応時間：月～金 9時～17時

※土・日・祝日、夏期休業、年末年始休業期間はサポート対象外となります

上記へお問い合わせの際は「WEB共通互換品番検索システムについて」とお伝えください。お電話は混み合う場合がありますのでメールでのご連絡をお勧めいたします。メール確認後、必要に応じてメールまたはお電話いたします。予めご了承ください。
また、お電話でのお問い合わせの際には発信者番号の通知をお願いいたします。

4) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを行っています

全部協は組合員の皆様の福利厚生充実を目的に、第一生命保険(株)のグループ企業である(株)ベネフィット・ワンの総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」の取次ぎを行っています。

「ベネフィット・ステーション」は団体保険の付帯サービス「DL Benefit Premium」の内容が拡充されたもので、お申込みいただいた組合員の経営者、役員、社員及び二親等以内のご家族が飲食店や映画館、レジャー施設、ショッピングサイトをはじめ、健康支援、教育・研修支援といった140万以上の様々なサービスを割引でご利用いただけます。

また、会社が負担した入会金・月額料金は法人にあっては全額損金算入、個人事業主にあっては全額必要経費に算入できます。

福利厚生の拡充や人材確保、社員のスキルアップなど、多方面で役立つサービスとなっておりますので是非ご活用ください。サービス内容、利用料金等については下記URLからパンフレット類をダウンロードしてご覧ください。

※団体定期保険・新医療保障保険に未加入の組合員の方もお申込みいただけます。

◎「ベネフィット・ステーション」資料・説明申込書

※入会希望または詳細説明をご希望の方は『ベネフィット・ステーション説明申込書』に記入のうえ、全部協事務局まで送付願います。第一生命保険(株)の担当者からご説明いたします。

5) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください

全部協では組合員の皆様の事業活動を支援するため、共同購買サイト「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」を通じた共同購買事業およびあっせん販売事業を行っています。

共同購買事業の取扱商品については、「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」から、あっせん販売商品については全部協ホームページの組合員ルームからご確認ください。お得に購入できる商品が多数掲載されておりますので積極的なご利用をお願いいたします。

6) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となっていることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓発し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めていきます。

◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）

エアフィルターは、
適正に交換しましょう！



新品のエアフィルター



使用後のエアフィルター



エアフィルターには「**性能期限**」があります

エアフィルターの交換時期は、車の利用環境や利用頻度によって大きく異なりますが、走行を続ければ確実に汚れるので定期的な点検と交換が必要です。

交換の目安は**4～5万km**毎
(シビアコンディションの場合は2～2.5万km毎)

※詳しくは整備手帳をご確認ください

⚠ エアブローの清掃では、ろ材に
こびりついた汚れは吹き飛ばせない
ので交換しましょう！

交換時期をむかえたエアフィルターは**新品に交換**しましょう！

JFA 日本フィルターエレメント工業会
協力 全日本自動車部品卸商協同組合

7. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧ください。

2026年度会議・活動日程

8. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

9. 付録

- 1) 公式LINEお友達募集中です
- 2) 「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A
- 3) デッドストック品掲載ガイドライン
- 4) 「リパーツダイレクト」広告【PDF】
- 5) その他の広告リンク

株式会社AAC

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

お問い合わせ 配信停止